



平成24年 4月27日

各 位

会社名 東北電力株式会社
代表者名 取締役社長 海輪 誠
(コード番号 9506 東証一部・大証一部)
問合せ先 経理部長 成田 茂
(TEL. 022-225-2111)

災害に伴う特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、東日本大震災及び新潟・福島豪雨に伴う損失について、平成24年3月期において特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 災害に伴う特別損失の計上について

東日本大震災及び新潟・福島豪雨に伴う損失について、平成24年3月期第3四半期（4月～12月）までに特別損失を計上していましたが、今般、その後の調査進展及び復旧方針の確定などにより、新たに見積り可能となった復旧費用等について、下記のとおり特別損失を追加計上いたしました。

(連結)

	平成24年3月期	(ご参考) 追加計上額 (1月～3月)	(ご参考) 平成23年3月期
財 産 偶 発 損	百万円 1,416	百万円 666	百万円 25,929
災 害 特 別 損 失	99,642	9,783	83,382
合 計	(注1) 101,058	10,449	109,312

(注1) 災害別の内訳

東日本大震災に伴う特別損失 82,532百万円
新潟・福島豪雨に伴う特別損失 18,525百万円

(個別)

	平成24年3月期	(ご参考) 追加計上額 (1月～3月)	(ご参考) 平成23年3月期
財 産 偶 発 損	百万円 965	百万円 253	百万円 23,245
災 害 特 別 損 失	98,048	9,022	76,266
合 計	(注2) 99,013	9,276	99,511

(注2) 災害別の内訳

東日本大震災に伴う特別損失 80,488百万円
新潟・福島豪雨に伴う特別損失 18,525百万円

2. 今後の見通しについて

東日本大震災により、太平洋沿岸の火力発電所が大きな被害を受けましたが、企業グループの総力を挙げて復旧に取り組んだ結果、新仙台火力発電所1号機、仙台火力発電所4号機、常磐共同火力勿来発電所7号機、相馬共同火力新地発電所1・2号機が既に運転を再開しております。甚大な被害を受けた原町火力発電所1・2号機についても、可能な限り早期の運転再開に向けて、復旧工事に鋭意取り組んでおります。また、新潟・福島豪雨により、当社29箇所の水力発電所が被害を受け停止しましたが、既に16箇所が復旧しており、残る発電所についても、国、関係自治体と連携を密にしながら、早期運転再開に向け取り組んでいるところです。

なお、被害設備の損失及び復旧に要する費用については、現時点での合理的な見積額を計上しておりますが、今後の調査・点検の状況により変動する可能性があります。

以 上